



あびこ市民活動 ネットワーク 会報

令和 3(2021)年 7月 15日発行

第 58 号

発行責任者 宇野眞理子
我孫子市湖北台 4-11-16



コロナ禍の先を見据えて



あびこ市民活動ネットワーク 代表 宇野 眞理子

東京オリンピックの開会式がいよいよ 23 日に迫りました。非常に厳しい中での開催になりましたが、テレビでの声援を楽しみたいと思っています。オリンピックが終わり、ワクチン接種が進むにつれ、私たちの活動も日常を取り戻してくると思っています。これからは、コロナ禍から学んだことを活動に生かしながら、次に備えていく必要があると思っています。

会社のあり様や働き方改革にも拍車がかかり、副業も認められるようになりました。テレワークの導入によって Zoom 会議の活用や地域で過ごす時間も増えています。家事や子育ての男女共同参画の意識も高まり、男性の育児休暇取得も以前より取りやすい環境になってきました。これらの社会状況の変化を受け止めながら、新しい時代を生き抜くための地域活動の基盤づくりを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

あびこ市民活動ネットワークでは、ここ数年、ダイ

ヤ高齢社会研究財団の主任研究員澤岡詩野さんをお招きしお話を伺いました。その中で①年を重ね自分の身体が虚弱化するほどに近場・地域の意味が増す②これからは「つながり」の質を高めること③支えられつつ支える側にもなれると話されたことがとても印象的で脳裏によみがえってきています。

人生 100 年時代を迎え、改めて地域での活動・つながり・担い手の発掘の在り方をキーワードに取り組んでいければと考えています。キーワードの視点を持ちながら、①4 月に策定された市民活動支援指針を実りあるものにするための検討グループ②地域共生社会づくりを推進するための事業グループ③子ども応援団事業グループの 3 つの事業に分けて取り組んでいます。また会則改正についても検討を開始したいと思っていますので会員の皆様にご意見をお伺いしたり、ご協力をお願いすることがあると思います。どうぞよろしくお願い致します。

なお、3 つのグループの活動報告は会報に掲載していきます。今回も 2～3 ページに報告を載せました。

新たな「市民公益活動支援指針」に基づく推進施策を積極的に推進



我孫子市市民生活部長 隈 正章

あびこ市民活動ネットワークの皆様には、市との協働事業を始め、市では行き届かない市民サービスの検討実施、市民活動団体や市との連携調整等、様々な活動により活力のあるまちづくりにご協力をいただいております。深く感謝申し上げます。

令和 3 年度は、新たな「市民公益活動支援指針」に基づく推進施策を積極的に推進する他、地域会議の取り組みの推進や自治会、まちづくり協議会によるコミュニティ活動を支援することで、市民が主体的に取り組む市民公益活動の活性化を図っていきます。

現在、学習支援や子ども食堂、フードバンク等、市民による新たな市民公益活動が展開されています。

今後さらに、経済的困窮や教育格差、孤立、虐待、DV など、様々な課題が顕在化する中、誰もが安心して地域で暮らせる環境をつくるには、市民公益活動が大きな役割を果たすものと考えています。

そのためにも、新たな市民公益活動支援指針を基に、あびこ市民活動ネットワークの皆様と協働で、市民の活動を支えて行かなければならないと考えています。

微力ながらもその役割を果たしてまいりたいので、ぜひご協力をお願いします。

< も く じ >

- 1P あびこ市民活動ネットワーク代表挨拶／我孫子市市民生活部長挨拶
- 2P 総会報告／令和 3 年度事業計画に基づいた活動：①グループ
- 3P 令和 3 年度事業計画に基づいた活動：②グループ ③グループ
- 4P 会員の活動あれこれ：「我孫子ビークルサービス」18年間の活動

- 5P 地域活動あれこれ：フードバンクの活動・フリマ開催
- 6P 地域活動あれこれ：市民のチカラまつり・柏市での活動
- 7P あびこ市民活動ネットワーク役員会報告
- 8P みんなの掲示版／市民活動ステーションからお知らせ



令和3年度 あびこ市民活動ネットワーク総会 書面決議報告

2021年は度重なる緊急事態宣言の発出により、思うような活動が展開できませんでした。今回の定時総会は開催する予定でしたが役員会において話し合い、書面議決でお願いすることとし、去る5月22日までに議決書を回収し6月10日の役員会において各議案についての賛否等を確認いたしました。

その結果について下記の通りご報告いたします。

記

1 総会成立の要件確認

会員数73（過半数37）、議決書回収数47よって、総会成立の要件を満たしました。

2 各議案の賛否確認

第1号令和2年度事業報告	賛成47
第2号令和2年度決算報告・監査報告	賛成47
第3号令和3年度事業計画案	賛成47
第4号令和3年度収支予算案	賛成47
第5号役員人事案	賛成47

上記の通り、すべて原案通り承認、可決されました。

(担当幹事 渥美節子)



<会員の皆さまから寄せられたご意見>

令和3年度 事業計画 に基づいた活動

◆ 1 グループ 市民活動支援指針を実りあるものにするための検討事業

我孫子市の「我孫子市市民公益活動支援指針」の改訂作業が終わり、5年ぶりに指針が見直されました。現在は、市の財政状況や、支援体制の整備充実を前提に、どのような支援に重点を置いて、具体的にはどのような事業を展開するかが課題になっており、あびこ市民活動ネットワーク（以下ACNWという）にも先般、来年からの実施計画に盛り込むための事業についての意見を求めてこられました。

このため、ACNWは今年度の事業計画で「市民活動支援指針を実りあるものにするための検討」を重点事業とし、役員会の中に支援指針検討事業担当を設け、市民活動支援課との話し合いに入りました。

その第1回目の意見交換会を6月11日午後、市役所議会棟会議室で行いました。

この日は、市民活動支援課からは小池課長、飯塚主査長、山田主査の3名が出席、ACNWからは役員9名が参加し、まず市側から事業案の概要、

今後の検討予定などをお聞きしたあと、事業案に関連しては、地域づくりコーディネーター養成事業（新規）案や、公共施設の使用料の減免、公募補助金の見直しなどについて意見交換しました。また、今般のコロナワクチン接種申し込みでは多くの高齢者が難儀した、などの新指針想定外の課題なども報告されました。

ACNWとしては、新支援事業の重点課題の検討だけでなく、個別具体的な支援課題についても、意見交換することとしています。

この指針検討事業には、何よりの会員各位、特に市民公益活動団体の積極的なご参加が必要です。今後この会報その他で、これに基づく支援検討状況をお知らせしますし、メールなどご意見を伺うこともあると思います。ぜひACNWの支援検討グループへのご参加をお願いいたします。

なお、新指針は我孫子市のホームページや市役所行政情報資料室でもご覧いただけます。

令和3年度事業計画に基づいた活動

◆ 2グループ 地域共生社会づくりを推進するための事業

あびこ市民活動ネットワーク（以下 ACNW という）では、令和2年2月にシンポジウム「地域共生社会づくりを考える～事例をもとに我孫子市の福祉の現状を知る～」を開催しました。令和3年2月に「コロナ禍での高齢者課題」というテーマで話し合いを予定していましたが、緊急事態宣言中で実施できませんでした。現在、コロナ禍でさらに色々な地域課題が浮き彫りになっています。

「地域共生社会づくりを推進するための事業」を掲げ、地域の中での課題や地域支援の在り方等について、世代を限定することなく、地域住民の複合化・複雑化したニーズに対応する支援体制を考えていきたいと思っております。

会員の皆様には地域での困りごと等でお気づきになられたこと、こんな課題を取り上げてほしいなどのお声を事務局までお気軽にご連絡下

◆ 3グループ 子ども応援団事業

生きづらさからの大脱出Ⅳ～大人たちから変わろう！～



日時：2021年9月26日（日）13：30～16：45

場所：南近隣センター多目的ホール（けやきホール9階）

第1部：基調講演 堀内祐子さん「ゆるみ☆子育て」代表

第2部：パネルディスカッション

・堀内祐子さん、我孫子市教育研究所遠藤美香所長（未定）

大人たちから変わろうの会、青空の会

・コーディネーター 悠々ホルンさん

第3部：つながりタイム・・・市内外の支援団体や親の会が参加予定

あびこ市民活動ネットワークと市民活動ステーションの協働事業・子ども応援団も4年目に入りました。今年は、生きづらさを抱えている子どもたちを抱えて、孤立し、悩んでいる親御さんたちや支援者に向けて実施します。そして、より多くの市民の方々に活動を知っていただく機会にするため実行委員会方式で行い、市民のチカラまつりに参加します。

今回は、第1部で発達障害を持つ4人のお子さんの母親で、「ゆるみ☆子育て」代表、自閉症スペクトラム支援士、特別支援士、傾聴心理士

としてご活躍の堀内祐子さんをお迎えして基調講演を行います。

第2部は、パネルディスカッションです。堀内さん、遠藤美香我孫子市教育研究所所長、遠藤所長の講演がきっかけでできた不登校の子どもを持つ親御さんたちの会のメンバーなど、生きづらさを抱えた子どもを持つ親の会などにお話を伺います。

第3部は、つながりタイム。参加者と講師や市内外の支援団体などと直接相談する機会を設けました。

実行委員会参加の団体・個人（五十音順）

青空の会（我孫子）・大人たちから変わろうの会・かしわ地域若者サポートステーション・我孫子市子どもの学習支援ネットワーク・子どものSOSソングライター悠々ホルン・スクールソーシャルワーカー伴火穂・中央学院大学葉山大地・認定NPO法人東葛市民後見人の会・みんなの広場「風」・我孫子市：子ども相談課・社会福祉課・教育委員会指導課・我孫子市教育研究所 【事務局】あびこ市民活動ネットワーク・あびこ市民活動ステーション

会員の活動あれこれ

★ NPO法人「我孫子ビークルサービス」18年間の活動 ★

コロナ禍の緊急対応～ワクチン接種会場への送迎も

NPO法人「我孫子ビークルサービス」理事長 神田喜夫

NPO法人「我孫子ビークルサービス」は2003年に創立され、18年間に渡り活動を続けてまいりました。「ビークル」とは自動車を意味しており、マイカーを利用しての移送サービスが活動の主体であり、「利用会員」と「協力会員」で構成されています。



◆「利用会員」



高齢者・身体の不十分な方・障がいのある方等公共交通機関や運転免許返納後の移動の困難な方々が病院のみでなく多目的で利用され、「協力会員」は自家用車を所有し、月間で予定のない日・時間にマイカーで移送活動をしていただくドライバーで構成されています。4年前より我孫子市市民活動支援課のご協力によりNPO法人として評価を受け、ご支援もいただいております。

協力会員募集中です

◆最新の活動状態

「利用会員」は80名～90名・「協力会員」は20名（内運行管理者1名、事務員2名）で、年間1700名、運行距離14,000キロ増加傾向です。

国土交通省管理の下、「福祉有償運送」のライセンスを取得した「協力会員」で活動し、18年間無事故で安心・安全と好評です。

我孫子市の人口約13万人に対して高齢化率が30%以上、独居率24%、要介認定数約7千名、そのうち90%が75歳以上とのデータが有り、多くの町々では高齢化率が40%越えもある事が現状です。

◆3年間の中期計画作成

これからの課題に対応できるNPO法人として新しい対応を実施してまいります。

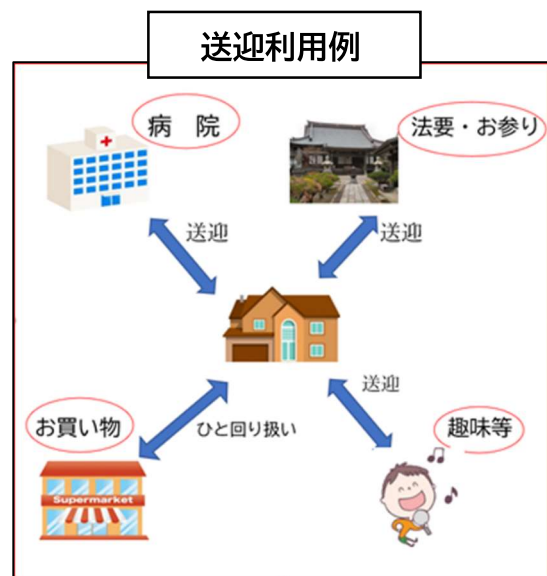
今まで実施した例としては、

- ① 「高齢者何でも相談室」との連携
- ② 突然の病気、転倒等による骨折等での短期（2ヶ月）利用会員の設定
- ③ 予約による「365日」無休の活動
- ④ 買い物等弱者への「ひと廻り」1時間の活動（女性に人気）
- ⑤ 我孫子市広報での「次世代協力会員」の募集

◆コロナ禍の中での緊急対応～次世代「協力会員」の確保～

想定外の「新型コロナウイルス」の感染拡大に伴い、緊急対応として「協力会員用コロナ対策強化」としてマスク・車の各部アルコール除菌・検温を徹底し、また「ワクチン接種」が開始された5月以降は全利用会員とその配偶者の各接種会場への送迎を優先的に実施し、現時点で1回目の接種はほぼ完了しました。

今後の最大の課題は次世代「協力会員」の確保にあり、自治会・老人会他のご協力を得て「安心・安全」なこの活動を維持したいと思っております（問い合わせ先：電話04-7192-8077）



地域の活動あれこれ

フードバンクの活動を通して

NPO 法人アビーズ 宮本 慈子

私たちアビーズの活動は、2011年より任意団体の学習支援活動から始まりました。

子どもたちが気兼ねなく、勉強できる環境を少しでも担保していきたいという思いでした。

活動を継続していく中で、子育てしながら働くお母さんへの支援やひとり親世帯の深刻な問題など、もっと広い支援ができないといけないという現実に直面しました。

私たちのできることは、限られていますが、とりあえず、食べる心配のないことは、先の問題を解決するのに必須事項だと思い、フードバンクの活動を始めました。

最初は、「フードバンク千葉」の活動に支えられながら、食品の回収に努め、「フードバンク千葉」の本部に集約し、我孫子で必要なときには、もらいに行くという活動をしていました。1年を経過したころからは、地域で集めた食品は、地域で活用する方がよりき



め細かな支援ができるということで、地域内活動に切り替えました。

10年近い活動の継続により、利用したい人・食品を提供したい人、どちらも増えてきました。最近メディアで取り上げられることも多くなったこともあり、活動を理解して協力してくださる方が本当に多くなったと感じています。

また、今回で3回目となるあびこショッピングプラザ等企業の積極的な協力は、力強く、私たちの大きな励みにもなります。

コロナ等、閉塞感の強い昨今ですが、身近なところからの力が、少しでも子どもたちの幸せにつながっていけばいいなと思っています。これからも皆さんのご協力をよろしくお願いします。

「あびこ DE 子育ていいね！ Peek-a-boo フリマ」開催



5月30日(日)・31日(月)の2日間、あびこショッピングプラザ1階のガーデンコートで、フリーマーケットを開催しました。

この催しは、あびこショッピングプラザの「コロナ禍でも子育て世代の支援をしたい」という想いと、あびこ市民活動ステーションの「子育て世代に市民活動の輪を広げたい」という意向を受けて、「あびこ DE 子育ていいね！ガイド」を発行したことに始まります。

10名のママを集めて編集会議を進め、2021年2月に冊子が完成！ さらにフリーマーケットの開催へとつながりました。

当日はお天気にも恵まれ、多くの方が来場されました。市民活動ステーションもブースを設け、情報発信や読み聞かせイベントを実施しました。

次回は秋にフリマを開催予定です。市民活動の輪を広げ、若い世代の担い手探しのきっかけになればと思います。
(担当幹事 小田麻子)

市民のチカラまつり2021 開催に向けて

この市民のチカラまつりは我孫子市と市民活動団体が中心となり行政や学校や企業と緊密に連携し実施するまちづくり交流イベントです。

今年のテーマは「市民活動を知ろう！つながろう！」です。今年はコロナ禍の開催2年目となります。昨年度の実績を活かし新型コロナウイルスの感染防止のため対面・密集を避けた開催方法を工夫しました。対面は場所と日時を分散し動画やオンラインを活用しより多くの市民の皆様に我孫子の市民活動を知ってもらえるような内容の企画が盛りだくさんとなっています。最終応募団体は45団体となりました。

●開催概要と開催日（開催期間）

A：展示部門

（ポスター展示）

9月14日（火）～26日（日） アビスタストリート

9月15日（水）～26日（日） けやきプラザ第1ギャラリー

（動画アップ）

市民のチカラまつりチャンネルで動画を公開

B：体験部門（対面式）

9月25日（土）～26日（日） けやきプラザ&アビスタ

C：ステージ発表部門（対面式・オンライン）

テーマ：REVITAL

9月25日（土） けやきプラザ2階ホール

D：販売部門（対面式）

9月25日（土）～26日（日） けやきプラザ&アビスタ

E：企画部門（対面式・オンライン）

2021年7月～2022年3月までの期間で分散して開催します。

ACNWからは17団体が参加しています。（担当幹事 中條信三）

市民のチカラまつり2021
～人をつなぎ 仲間をひやす～
あびこ市民活動ネットワーク
 我孫子市の市民活動団体の連合組織です
 略称：ACNW (ABIKO CITIZEN NET WORK)

設立 2006年(平成18年4月)
 目的 市民活動団体が相互に情報交換と交流などを行い、それぞれの市民活動や地域活動の充実発展を支援する
 活動 1. 市民活動の担い手養成、市民活動団体との連絡調整
 2. 各種の講座開催など市民活動の活動支援
 3. 会員交流会、会報発行などの団体交流の支援
 4. 行政懇談会、市民活動支援課との連絡会の開催
 5. 市の関連審議会などへの委員推薦

団体会員：48団体 個人会員：25名 (2021年4月9日現在)

あびこ市民活動ネットワークが、会員を募集しております
 市民活動の楽しさを味わいながら、住みやすい地域を一緒に考えませんか？
 会の趣旨に賛同いただける団体・個人の方、いつでも歓迎します。
 年会費 団体：1000円 個人：1000円

※あびこ市民活動ネットワークホームページをご覧ください
 参加団体のイベントなどの情報を掲載しています
<https://acnw.abiko.na.jp/>

<お問い合わせ> 事務局 藤巻 節子
 携帯 080-3446-1845
 メール a23ac@cocoon.abiko.or.jp

柏市では 地域でこんな活動 をしています！

柏市社会福祉協議会から委嘱を受けて、地域の支えあい推進員として5年間活動し、この3月退任しました。柏市は、全域を22に分け、エリアごとに地区社会福祉協議会を置いています。私は、柏北部にある田中地域の担当をしました。田中地域は、柏の中で一番の広さを有し、人口43000人、つくばエクスプレスの柏の葉キャンパス駅と柏たなか駅を抱え、周辺開発に伴って転入者が増え続けている地域です。

地区社会福祉協議会の地区担当者と支え合い推進員がペアを組んで、年間3~4回のペースで支え合い会議を開催。そこでは地域の現状分析と課題を共有し、対応を考えていきます。

今までに支え合い推進員として行ってきたことは①各町会に伺い町会の実態と課題をつかむ②高齢者対象の通いの場・地域サロンを訪問し現状を把握③田中地域の住民アンケート調査実施と分析④地域にあ

る幼稚園を訪問し現状とバスルートの把握⑤地区社会福祉協議会と連携し生活支援サービス（草取り、ゴミ出し）を確立⑥町会での生活支援サービスの立ち上げ支援⑦小学校校長と地域との連携について話をする⑧先進地の方を招いての講演会等です。

支え合い会議も始まった当初は、高齢者中心に検討していましたが、昨年からは多世代の課題を地域で共有しています。また、地域の特性を踏まえ3つのグループに分けて会議を進めています。免許返納後の外出、学校と地域の連携、住民にわかりやすい相談窓口のパンフレット作成など検討を始めています。

5年間支え合い推進員をさせていただいて、住民にいかにか情報が届いていないか、人と人のつながりを求めているかを痛感しました。それぞれの地域に合ったやり方で少しでも住みやすい地域になれば良いのにと感じています。
 （幹事 宇野眞理子）

■4月役員会4月8日(木)大会議室でZoomとの併用

- 1、編集担当からの報告
4月15日印刷・発行400部
- 2、令和3年度事業計画案について意見交換した。
市民活動支援課と事務局と話合いの報告があった。
- 3、総会について、コロナ自粛や会場確保など
総会予定日 5月28日 午後2時
総会方法について
①委任状又は②書面議決の2案を検討した。
総会準備について意見交換した。

■5月役員会5月13日(木)大会議室でZoomと併用

- 1、市民公益活動支援指針に基づく推進施策の検討についての提案
飯塚主査長から
市民公益活動支援指針に基づく事案説明があった。
 - (1) 拠点施設のコーディネート機能及び相談業務の充実
 - (2) 市民公益活動の参加者を増やすための取組
情報提供や参加、体験機会の充実
 - (3) 情報の発信と広域での交流促進
 - (4) 市民活動団体の運営基盤強化に向けた支援
 - (5) 地域の多様な主体との連携促進
 - (6) 庁内体制の整備
- 2、総会についての確認をした。
コロナ禍による感染者増加防止のため書面議決とし、令和3年度定時総会議決書他、令和3年度定時総会資料1式を市民活動ネットワーク会員に郵送した。
- 3、今年度事業の進め方と役員の配置について検討した。
 - ①市民活動支援指針を実りあるものにするための検討
 - ②地域共社会づくりを推進するための事業
 - ③子ども応援団事業
- 4、市民のチカラまつりでの市民活動ネットワーク企画について検討した。

■6月役員6月10日(木)大会議室でZoomとの併用

- 1、総会議決書の報告

当会では本年度総会を書面による決議とし去る5月22日までに議決権行使書を回収し6月10日の役員会において各議案についての賛否等を確認した。

① 総会成立の要件確認

会員数73(過半数37)、議決書回収数47、よって総会成立の要件を満たした。

② 各議案の賛否確認

- 第1号令和2年度事業報告 賛成47
第2号令和2年度決算報告・監査報告賛成47
第3号令和3年度事業計画案 賛成47
第4号令和3年度収支予算案 賛成47
第5号役員人事案 賛成47

上記の通り、すべて原案通り承認、可決された。

- 2、市民のチカラまつりの出展について
昨年同様の展示、企画は未定。
- 3、ステーションのHPリニューアルに伴い「登録団体情報」を掲載した。
- 4、6月11日の懇談会に向けて、市民活動支援指針に基づく事業案について意見交換した。
- 5、地域共生社会づくりを推進するための事業について検討した。
- 6、子ども応援団事業の進捗状況と意見交換。
- 7、総会が終わり6月から新たなスタート
今年度の事業の進め方や取り組みの視点の置き方について意見交換した。
 - ・市民活動支援指針に基づく事業の優先順位について
 - ・公共施設の利用者負担、利用の仕方
 - ・有償ボランティアと無償ボランティア
 - ・情報格差の問題
 - ・市民活動と企業との連携
 - ・拠点施設のコーディネート
 - ・担い手づくり
 - ・不登校の課題
 - ・世代のギャップ、世代ごとのマーケットに向けた情報発信の仕方
 - ・世代ごとのマッチング、参加の仕方について
(担当幹事 渥美節子)

~~~~~☆事務局から☆~~~~~

- ◆次号は10月15日発行予定です。会報に催し、求人、他の会員への呼びかけなどの掲載を希望される場合は、事務局(メール a23se@cocoa.plala.or.jp)まで、9月末日までにご連絡ください。
- ◆アドレスご登録の会員には、この会報や、催しのご案内などを市民活動ネットワークのホームページ <https://acnw.sakura.ne.jp/index.html>でもお届けしています。
アドレスの新規登録をご希望の会員も上記にご連絡ください。
- ◆各団体の役員・担当者・連絡先等に変更があった場合は、その都度あびこ市民活動ステーションに Fax (04-7165-4370) でご連絡ください

みんなの掲示板

特定非営利活動法人 みんなの広場「風」 施設長 栗原祐子

ひきこもり当事者の社会復帰を応援するための居場所づくり(まったりサロンいっぽ)

今年の4月から、『まったりサロンいっぽ』をスタートしました。

まったりサロンいっぽ(以後まったりサロン)は①当事者が居場所を獲得し、人間関係を構築しながら向上心と自尊感情を養い、集団の中での生活力を向上する。②当事者や経験者が事業企画運営に参画し、ピア活動を行なう③当事者の家族が学び合い支え合う関係づくりを行なう。④支援者は研修をしながら支援技術を高めつつ、関係機関や地域資源のネットワークづくりを行なう。ことを指針とし、みんなの広場「風」のcafé風において、毎月1回、社会に出づらさを感じている15歳以上を対象として、学習、レク、音楽、自己啓発活動、相談援助などの活動とともに、栄養のある食事と楽しい食卓を提供していきます。

7月30日(金)18時~19時半には子ども SOS ソングライター悠々ホルンさんのコンサートを予定しています。参加予約申し込み:café風 7199-7355



実行委員会には、東葛市民後見人の会、あびこ市民活動ステーション、我孫子北地区社協、柏若者サポートステーション、中央学院大学の先生などが参画しており、当事者の方一人一人の心に寄り添い人生を応援していただけるような居場所になることを願いつつ、研修と居場所づくりの内容を模索していきます。

あびこ市民活動ステーションからのお知らせ

コロナ禍が続く中、対面式とオンラインを組み合わせながら「市民のチカラまつり 2021」の準備を進めています。市民活動団体から講演会等の企画を募集し、11団体が実施することになりました。詳細は、あびこ市民活動ステーションのHPからご覧ください。<https://abikosks.org/>

■市民のチカラまつり企画部門講演会■

分野	団体名	開催日時	出展・企画内容詳細	会場
環境	我孫子市消費者の会	7月4日(日)13:30~15:00	DVD上映会1. マイクロプラスチックごみ—日本のリサイクル幻想、2. 終わりのない原子力災害	けやきプラザ9階ホール
	手賀沼水生生物研究会	8月21日(土)14:00~16:00	手賀沼の変遷と保全の試み~過去・現在・未来	水の館研修室
	我孫子の景観を育てる会	8月28日(土)14:00~16:30	手賀沼ヌマベ会議~水辺の未来を語る	アビスタホール
	岡発戸・都部の谷津を愛する会	10月30日(土)10:00~12:00 雨天時は10月31日(日)	秋の谷津で生きものを観察しよう	谷津(野外)
	我孫子市景観形成市民会議	11月21日(日)午後	景観フォーラム2021 なるほど『街歩き』	けやきプラザ8階第1会議室
教育・社会教育	有限会社ティーアンドエム	8月8日(日)10:00~12:00	今日から親子でアンガーマネジメント!	けやきプラザ8階第1会議室
	我孫子革新懇、我孫子九条の会	10月9日(土)14:00~15:45	地域社会で今必要な男女共同参画事業とジェンダー平等を考える	市民プラザホール
	NPO法人ふれあい塾あびこ	10月10日(日)午後	地域活動の新しいチカラ	湖北地区公民館ホール
	新日本婦人の会	11月27日(土)13:00~17:00	大人も子どももスマホと上手につきあおう	北近隣センター並木館ホール
歴史・文化	我孫子カルチャー&トーク	10月9日(土)13:00~15:00	もっと我孫子を知ろう(平将門と柳兼子をテーマに当地魅力を市内外に伝える)	アビスタ・ホール
	我孫子の文化を守る会	2022年2月19日(日)午後	将門の本拠地はここだ!	けやきプラザ9階ホール希望